

# 「めあて—まとめ・振り返り」を位置づけた授業づくり(実践編)

問題 ジュース  $\frac{2}{5}$  Lと  $\frac{1}{5}$  Lをあわせると何Lですか。

分母は同じだね。

めあて 分母が同じ分数のたし算の仕方を考え、説明しよう。

式  $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$

整数ならかんたんだけど、分数でもたし算できるのかな。

- ・答えも分数になりそうだ。
- ・分子も分母もたしてみよう。
- ・「1Lます」の図をかいて考えよう。
- ・線分図で表してみよう。

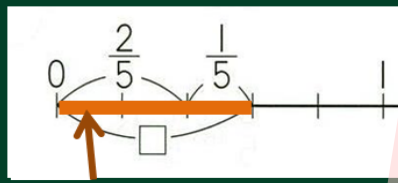
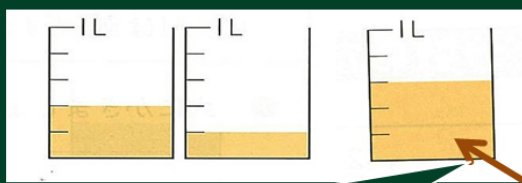
答えが1をこえてもいいの？

まとめ

分母が同じ分数のたし算は、もともになる分数の何こ分になるかを考えれば、整数と同じように計算することができる。

練習問題

- ①  $\frac{2}{7} + \frac{3}{7}$  の計算の仕方を考えて、説明しよう。
- ②  $\square + \triangle$  ←□や△にいろいろな数を入れて計算しよう。



1Lを5つに分けた「ます」を使っているから、たし算をしても分母は同じだ。

1を5つに分けた3つ分なので、答えは  $\frac{3}{5}$

式  $\frac{2}{5} + \frac{1}{5} = \frac{3}{5}$

答え  $\frac{3}{5}$  L

もともになる分数

$\frac{1}{5}$  が何こ分になるかを考えると...

$\frac{2}{5}$  は  $\frac{1}{5}$  が ② こ

$\frac{1}{5}$  は  $\frac{1}{5}$  が ① こ

あわせて、

$\frac{1}{5}$  が (2+1) こなので

$\frac{3}{5}$  になります。

整数で計算できる！

【めあての設定】  
何を学ぶか、どのように学ぶかを明らかにします。

○子供の気付きや疑問を取り上げ、子供と共にめあてをつくりましょう。

○子供自身が、達成度を自己評価できるようなめあてにしましょう。

自分一人でも、計算の仕方を説明できたよ。



子供の主体性を育て、学習内容を確実に身に付ける指導につながります。



## 【学習のまとめをどう導くか】

追求したことを基に、「めあて」に対する答えの形でまとめます。まとめは、全員アウトプットを目指しましょう。



黒板の黄色のキーワードを使って、ノートにまとめを書いてみよう。



キーワードを合わせれば、自分でまとめがかけられるよ。

## 【振り返りをどう導くか】

「解決した過程・学び」「獲得した知識・技能」「情意面」等を合わせ、子供が自覚的にまとめます。

例)「はじめは、分母と分子をそれぞれたし算して  $\frac{3}{10}$  になると思ったけど、1Lますの図にかいてみたら、 $\frac{1}{5}$  が3つ分だから、分母はたさなくてもいいということが分かりました。練習問題もかんたんにできました。分母より分子の方が大きくなる場合の計算の方法について、次の時間に考えてみたいです。」